

1. 基本データ

【事業課題名】

課題名(和文は40字以内。)

(和文)

(英文)

【実施期間】

平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日

【受入機関】

機関名(和文)

(英文)

機関代表氏名

【実施の中心となる部局】(受入機関内の研究科、附置研、研究センター等)

部局名(和文)

(英文)

部局代表者

職名
(和文)

氏名
(和文)

(英文)

(英文)

【コーディネーター】

所属部局
(和文)

職名
(和文)

氏名
(和文)

(英文)

(英文)

(英文)

電話番号

ファックス番号

Email

【事務責任者】(変更申請書等の提出者となる責任者)

所属部局

職名

氏名

【本会との連絡窓口となる事務担当者】(担当が複数人いる場合は枠を追加して、記述してください。)

所属部局

職名

氏名(フリガナ)

電話番号

ファックス番号

Email

住所(〒)

若手研究者交流支援事業－東アジア首脳会議参加国からの招へい－
平成21年度第 回実施報告書

【受入機関内のその他の部局等】(該当がある場合のみ記述してください。部局等が複数ある場合は、すべて記述してください。)

部局名 (和文)

(英文)

【受入機関以外の協力機関】(該当がある場合のみ記述してください。機関が複数ある場合は、すべて記述してください。)

機関名 (和文)

(英文)

部局等名 (和文)

(英文)

【交流相手機関】(機関が複数ある場合は、枠を追加して、すべて記述してください。)

機関名 (和文)

国名 (和文)

(英文)

(英文)

部局名 (和文)

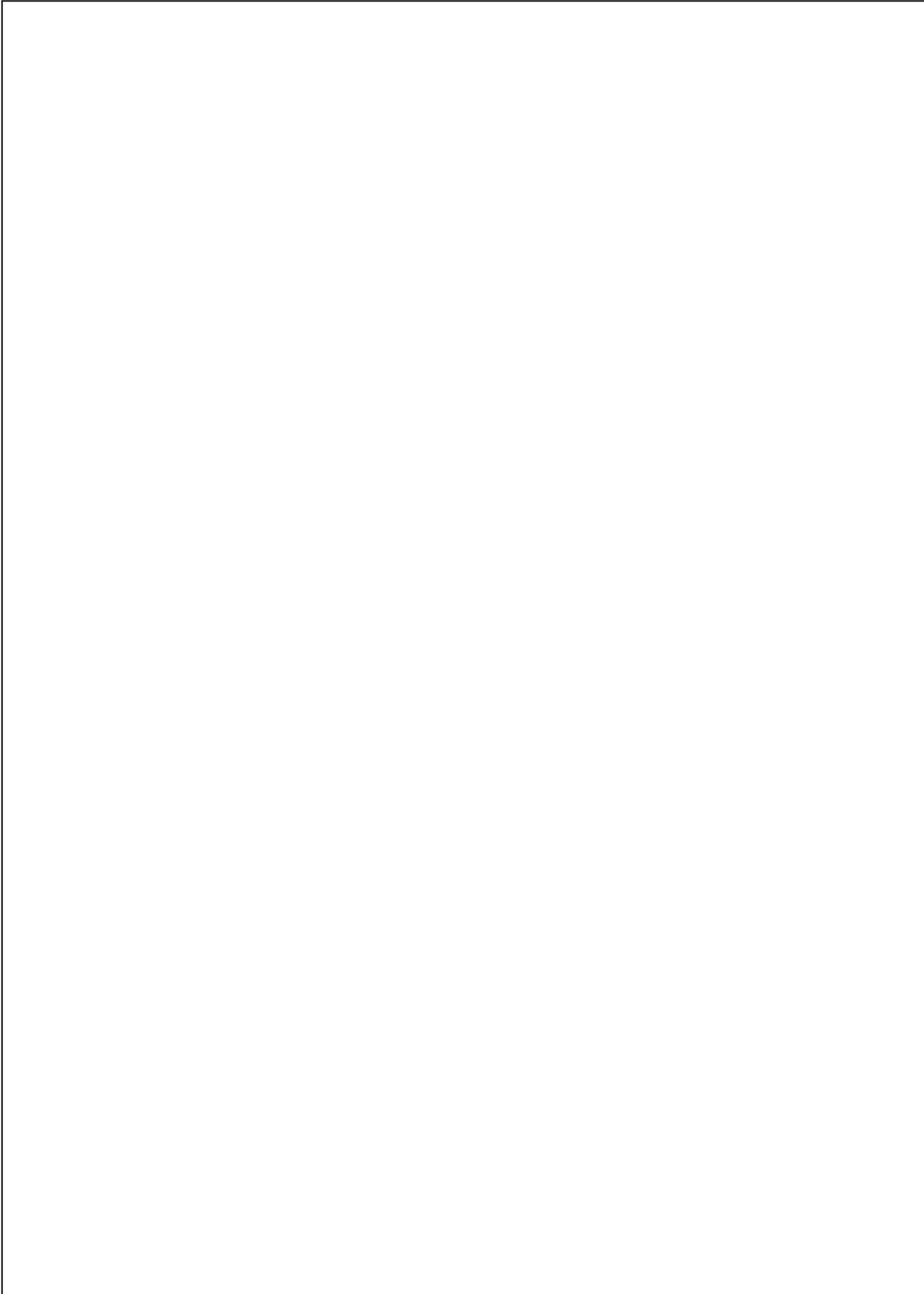
(英文)

【受入研究者】(派遣のみの研究者も記入してください。)

氏名	所属機関	所属部局等	職名	備考

(平成21年度)

2. 事業目標の達成状況



若手研究者交流支援事業－東アジア首脳会議参加国からの招へい－
平成21年度第 回実施報告書

3. 事業実施概要

若手研究者交流支援事業－東アジア首脳会議参加国からの招へい－
平成21年度第 回実施報告書

4. 若手研究者の受入実績

受入研究者 氏名	招へい若手 研究者氏名	国籍	所属機関	部局	身分	博士 号有 無	招へい 開始日	招へい 終了日	招へい 日数
	計__人								

※招へい開始・終了日は、平成〇年〇月〇日と記述してください。

5. 日本側研究者等の派遣実績

派遣者氏名	派遣先機関	部局	国名	派遣開始日	派遣終了日	派遣 日数	派遣目的
						計__日	

※派遣開始・終了日は、平成〇年〇月〇日と記述してください。

若手研究者交流支援事業－東アジア首脳会議参加国からの招へい－
平成21年度第 回実施報告書

7. 経費使用額

日本学術振興会からの交付経費: 円

		平成21年度第1回 経費		
		経費費目	金額	積算内訳(単価等)
事業 実 施 経 費	招へい若手研究者の 受入	渡航費	延 人	円
		滞在費	(人日=人数×日数) 博士号取得者 人日 博士号未取得者 人日	円
		海外旅行傷害保険		円
		国内研究旅費		円
		調査研究費		円
		小計①		円
	者の派遣 日本側研究	渡航費	延 人	円
		滞在費	人日	円
		調査研究費		円
		小計②		円
	その他の経費	その他の経費	内訳 例)会場・設備借料、	円
			印刷製本費、	円
			通信運搬費、	円
			雑役務費など	円
	小計③		円	
消費税	消費税		円	消費税対象額の内訳 例)渡航費(招へい): 円
				渡航費(派遣): 円
				謝金: 円
小計④		円		
事業実施経費合計 ①+②+③+④			円	
事務 運 営 費	事務運営費	内訳 例)旅費、	円	
		物品費、	円	
		事務運営費、	円	
		謝金等、その他	円	
小計⑤		円		
合計	①+②+③+④+⑤		円	

- (注意) 1 各経費の使途・算出方法等については、「事務手続の手引」を参照のこと。
2 日本側研究者の派遣にかかる経費は「事業実施経費」の20%以内、「その他の経費」の合計額は、「事業実施経費」の30%を上限とする。
3 「事務運営費」の合計額は、「事業実施経費」の7%以内で、必要な額とする。
4 「事業実施経費」の「その他の経費」の内訳および「事務運営費」の内訳は必要に応じて欄をふやすこと。
5 「消費税」は外国旅費・謝金等に係る消費税のこと。

(平成21年度)